

食べ物から環境について知ろう

■プログラムの概要

ねらい	<p>【共通】 板橋区で作られる野菜を通して、板橋の農業はどうなっているのか、「地産地消」・「フードマイレージ」に着目しながら、環境にやさしい農作物選び・農地のあり方について考える。</p> <p>【小6～中3】 世界と日本の農業、板橋の農業のかかわりを知る。</p>		
キーワード	食育		
対象	小学3年～中学3年		
時間	45分×2（45分×3）	実施場所	教室
使用するもの	<p>【小3～小5】区内で生産されている農作物、画用紙、マジック</p> <p>【小6～中3】地図帳、旬食材カード、歴地図、ワークシート</p>		
全体の流れ	<p>【小3～小5向け】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 板橋区で農作物が作られていることを知り、調べる意欲を高める。 2. 板橋区内の農業の現状を理解する。 ※区内の農家の方（あるいはJAの方）をゲストティーチャーに迎えられれば、話を聞き、分かったこと、気付いたことをまとめる。 3. 板橋区の農業のPRポスターを作成する。 	<p>【小6～中3向け】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界・日本で行われている農業 普段口にしているものがどこの国・場所からやってきたものなのか知る。 2. 板橋区で行われている農業 板橋区でも農業が行われていることを知り、歴地図を使いながら、今の板橋区の農作地の減少を確認する。 3. 板橋区でとれる野菜を食べよう なぜ地元の野菜を食べると環境によいのか？地産地消をゲーム形式で知る。 4. まとめ 	

■進め方

【小3～小5向け】

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	①板橋区で農作物が作られていることを知る <ul style="list-style-type: none"> 板橋区で生産された農作物を実際に見せ、板橋区においても様々な農作物が作られていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 農作物のパッケージから板橋区で作られていることに気付かせる。また、実物に触れることにより実感をもたせる。
35分	②板橋区内の農業の現状を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 板橋区の統計から、現在の農家の数や、農地の面積を知る。 板橋区の統計から、農地が昔より減ってきていることを知る。 「農地が減る」ことでどんなことが起きるのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 統計をパワーポイントなどでグラフ化し、視覚的にとらえやすくする。 ゲストティーチャーの話を取り上げながら板橋区の農業の現状を理解させる。 農地の機能についてふれる。 日本の食糧自給率にふれるとともに、地産地消の考え方を理解させる。
35分※	※ゲストティーチャーを迎えた場合、②の代わりに話を聞く <ul style="list-style-type: none"> 区内の農家の方（あるいはJAの方）の仕事を知り、工夫や努力に目を向ける。 ゲストティーチャーの話聞き、分かったこと、気付いたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の内容だけでなく、農業に対する思いや願いにもふれる。 板橋区の農業が昔と現在との違いにもふれる。
45分	③板橋区の農業を守り、農地を残していくために、自分たちができることを考え、PRポスターにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> 班で話し合い、ポスターを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板橋区の農業に関する取り組みを紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ※板橋農業祭り ※生産緑地制度 など 作成した PR ポスターを校内や関連する施設等に掲示する。

【小6～中3向け】

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	あいさつ、流れの説明	
30分	<p><世界・日本で行われている農業></p> <p>①チラシから私たちが口になっているものの産地がどこか知る。</p> <p>②フードマイレージって何？</p> <p>③食品のフードマイレージを考慮すると、どの商品を選ぶと環境に良いか、地図帳で野菜の産地を確認する。(全体シートにも記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な食材が世界各国から輸入していることに着目させる。 • 「フードマイレージ」の意味を伝える。
20分	<p><板橋区で行われている農業></p> <p>①時代による農作地の変化を見比べよう。</p> <p>②今の板橋区で行われている農業は？</p> <p>クイズ形式で実施。農地面積？農家の数は？</p> <p>③農地があるとよいところは？</p> <p>しかし、板橋区では農地の減少・従事者の高齢化が進んできている。(日本の食料自給率は41%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 統計をパワーポイントなどでグラフ化し、視覚的にとらえやすくする。 • ゲストティーチャーの話を取り上げながら板橋区の農業の現状を理解させる。 • 農地の機能についてふれる。 • 日本の食糧自給率にふれるとともに、地産地消の考え方を理解させる。
35分	<p><板橋区でとれる野菜を食べよう></p> <p>①地産地消って？</p> <p>②旬って何？</p> <p>③様々な農法</p> <p>④板橋区で生産されていない野菜は？</p> <p>⑤季節にあった食材選び</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地産地消だけでなく、「旬」の食材を食べることも、育てるための無駄なエネルギーを使わないために環境に良いことを知る。 • ハウス栽培・電照栽培：旬の時期だけでなく、いつの時期にも食べられるように栽培。露地栽培：ハウス・電気を使用しない、太陽と自然の力を借りて栽培。最近行われている稲の育て方：アイガモ農法、化学肥料を使う影響について
10分	<p><全体・まとめ></p> <p>地産地消・フードマイレージのことを考えて買い物をするには、どんなことを心がければよいのか、班で話し合い発表する。</p>	

■使用するもの

【小3～小5】

物 品 名	数 量	備 考
区内で実際に生産されている農作物	班に1種類程度	直売店などでその時期に手に入るもの
ワークシート	1人1枚ずつ	1ページ目はゲストティーチャー用。活用しない場合は2ページ目だけ使用する。
四つ切り画用紙	班に1枚	
マジック	班に1セット	

【小6～中3】

物 品 名	数 量	備 考
パソコン	1台	
スクリーン	1台	
プロジェクター	1台	
地図帳	各自	無ければ各班1冊でもよい。
筆記具	各自	
旬食材カード	班に1セット	
歴地図	班に2枚	
ワークシート	班に1枚	
油性ペン	班に1セット	

■実施にあたって留意する点

【小3～小5】

(ゲストティーチャーの活用について)

同じ板橋区内でも、赤塚地区をはじめ、徳丸、西台、成増地区は農業を営む人や農地が多いので、ゲストティーチャーを活用し、学習活動を展開することができると思われる。しかし、その他の地区では、農業を営む人が少ないために、ゲストティーチャーを依頼するには難しい環境にあると考えられる。学校の実態にあわせてゲストティーチャーの活用を考える。

【小6～中3】

- 日本の農業は、旬以外でも作物を必要とする消費者のニーズに応えるべく発展してきたことを知る。
- 自分たちにできることを考えるようにする。